

夏休み明けは 人間関係づくりのチャンス！

夏休み明けの学級経営ではルールとリレーションの見直しが必要です。友だちとのつながりを再確認する人間関係づくりのエクササイズを紹介します。安心できる2学期のスタートを切りましょう。

集団の一員であることを再確認するために 「さいころトーク」はいいか？

ねらい	自分の好きなことや考えていることを話し聞きあうことで、お互いを理解するとともに、安心して話せる雰囲気や親密な関係を築いていく。
時間・形態	【時間】45～50分 【形態】4～6人のグループ
準備物	・ さいころトークシート（裏面をグループ数印刷してご使用ください。） ・ さいころ（グループ数） ・ 「約束事」を記入した紙（掲示用）

インストラクション

＜何をするのか＞

さいころを振って、出た目の数字のテーマについて話す。

＜何のためにするのか＞

相手のことをよく知って、仲良くなる。

＜どんな約束事があるのか＞


仲良くなるための「約束事」

- ・ 人が話しているときは口をはさまず聞く。
- ・ 話し終わったら次の人が話しやすくなるように「以上です。」と言う。
- ・ どうしても話しにくいテーマについてはパスできる。


＜これをするるとどんなことが起こるのか＞

話をうなずいて聞いてくれたらうれしくなる。

相手と自分の違いを見つけて仲良くなれる。



Q-U で要支援群にプロットされている児童生徒には、学校生活への抵抗感を軽減するために個別に話を聴いておくといいですね。




教師も自分のことを話すとみんなの緊張がほぐれます。

エクササイズ

グループにさいころトークシートとさいころを配る。

一巡目は＜トーク1＞、二巡目は＜トーク2＞のテーマについて話す。



話しづらいつて思った人が、話したくなるクラスにしていきたいね！

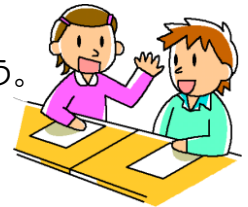
シェアリング

- (1) グループごとにシェアリング（感想を出し合う）を行う。
- (2) 全体でシェアリングを行う。（児童生徒が紙に書いたものを教師が読むという方法もあります。）

さいころトーキングシート

<さいころトーキングのやり方>

- ① 自分でさいころを振って出た目の数字のテーマについて話します。
- ② 話すときは、「私は～です。理由は…だからです。以上です。」と言います。「以上です」と言って、話し終わりを知らせます。
- ③ トークは1分以内です。1人で時間を使いすぎないようにしましょう。
- ④ どうしても話しにくいテーマについては、パスもできます。



<トーク1> ～夏休みの思い出バージョン～

	話をするテーマ
1	夏休みに読んだ本や見た映画 ^{えいが} 、テレビ番組について話してください。
2	夏休みに「これはおいしい!」と思った食べものについて話してください。
3	夏休みに出かけた場所について話してください。
4	夏休みにがんばったことについて話してください。
5	夏休みに会った人や生き物について話してください。
6	夏休みの一番の思い出について話してください。

<トーク2> ～秋バージョン～

	話をするテーマ
1	“食欲 ^{しょくよく} の秋” に食べたいものについて話してください。
2	“読書の秋” におすすめの本（漫画 ^{まんが} や映画 ^{えいが} 等も可 ^か ）について話してください。
3	“スポーツの秋” にあなたの関心のあるスポーツについて話してください。
4	“芸術 ^{げいじゆつ} の秋” に気になっている音楽（曲）について話してください。
5	“秋の夜長” にどんなことをして過ごす ^す か話してください。
6	2学期にがんばりたいこと、やってみたいことについて話してください。